

ささえあい

No.28

発行／前橋・在宅ケアネットワークの会

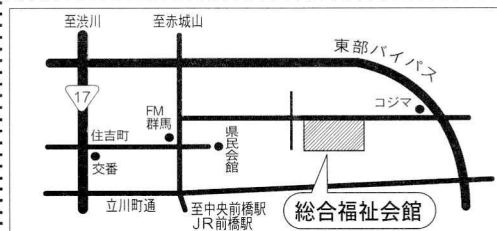
事務局 〒371-0017 前橋市日吉町2丁目17番地10(前橋市総合福祉会館内)

TEL/FAX 027-235-6283

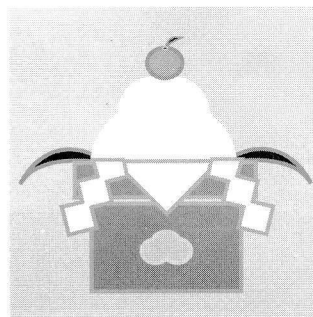
E-mail info@npo-sasaeai.net

受付時間帯 9:30~12:30

郵便振替口座 00150-2-155119



新年の御挨拶



明けましておめでとうございます。

会員各位には静かなお正月をお迎えのことと存じます。本年もご支援ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

*

さて介護保険がスタートして三年が経ちます。この制度に対する市民の理解もかなり深まってきました。賢い利用者になるためには優れたケアマネジャーを選ぶことが決め手であることがずいぶん分かってきたようです。

*

本会では、昨年七月から居宅介護支援(ケアマネ)事業に新たにベテランの堀内さんを採用し、三森ケアマネジャーと二名の体制としたばかりですが、有難いことに利用者のご紹介が相次ぎ、急ぎもう一名、ケアマネジャーを募集することになりました。

◎会員の皆さん

年頭早々ですがよい方(ケアマネージャー)をぜひご紹介下さい。

前橋・在宅ケアネットワークの会

理事会

第一回ホームヘルパー交流会

百名がにぎやかに交流

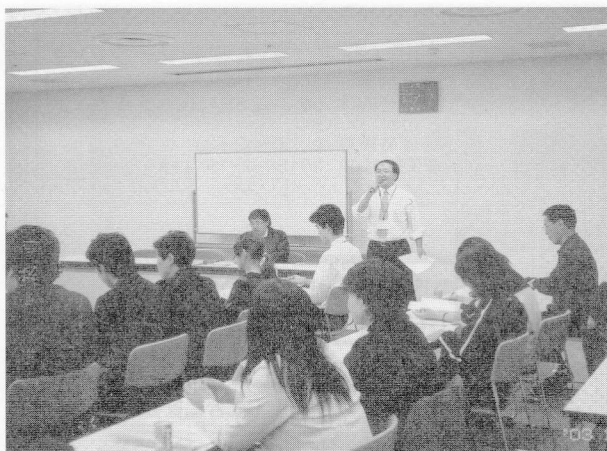
10月例会

十月二十日夜七時から九時、市総合福祉会館三階の第一、第二会議室でホームヘルパー交流会が九六名の参加のもと「ホームヘルパーの原点を探る」と題して行なわれました。

これは本会が隔月に開いている例会として開催されたもので、主な目的としてはホームヘルパー同士の交流会として、またネットワークの会の会員とホームヘルパーとの交流もあわせて考えられたものでした。

県ホームヘルパー協議会の長谷川幸子さんからは「ホームヘルパーの現状」というテーマで基調報告を高崎市の例を出していただきながら、要介護高齢者などの在宅での生活を支えるために、やりがいのある仕事であることが報告されました。

前橋市の介護高齢福祉課の統計では介護保険で一番利用率の高い在宅でのサービスは訪問介護(ホームヘルプサービス)であることが示されています。



このようにやりがいのある仕事であると同時に、利用者の生活にとって身近なサービスであることがわかります。

一方でヘルパーは高齢者の自立した生活を支援するために利用者宅を訪問している中で、悩む場面が多くあることが参加者の発言で会員にも知る機会となりました。例えば、家族と同居している場合に洗濯物を家族の分まで頼まれることにより家政婦として扱われることがあるため、本人の自立した生活支援のための本来の仕事とは違うことになってしまっていることがあります。このような悩みはひとつの事業所だけでなく、出席者のアンケートでも「皆、



悩んでいることは同じなんだ、自分のところだけではないんだ」との感想が寄せられています。さらに家庭ゴミの処分の問題も大きく、朝ゴミ出しだけで最低基準の一時間の請求を利用者にできないことも言われていて、ヘルパーの自宅に持ち帰ったり、事業所に持ち帰ったりと苦労している様子もわかりました。

このような問題点を参加者が共有することで前向きな考えもでて、地域で解決策を探ることも大切であることや、さらには、二十四時間対応ケアの必要性があるといった発言に対しては、参加者から大きな拍手が起きるなど、共通の悩みを抱えている事が分かりました。



りました。

また、多くの事業所の協力で、どこにどのようなヘルパー事業所があるのか知るための「訪問介護事業所情報」を冊子にして参加者にお渡しすることができました。

*

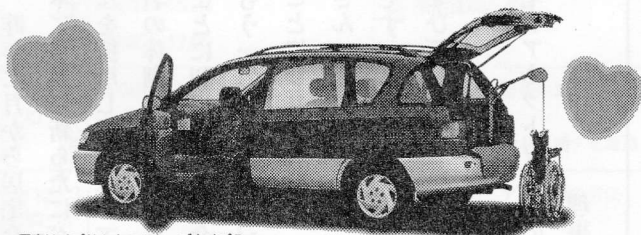
今回の交流会で得たものは、様々な立場の人たちが個々に抱える問題解決の糸口が見出せたことです。

今後は参加者からいただいたアンケートや社会情勢をもとに分科会形式などを取り入れて行えるように、また家族の立場からも考えられるよう勉強していきますので運営への提案もよろしくお願いいたします。

(三)

幸せをあげる群馬トヨペットの福祉車両

乗る方に応じた使いやすさと優しい配慮で、豊富な車種とバリエーションをご用意しております。



写真はイブサムエルキャブタイプB

お客様相談フリーダイヤル ☎0120-29-5123
http://www.toyota.co.jp/p-gunma/

群馬トヨペット
本社 〒371-0841 前橋市石倉町2-6-5 TEL.027-251-5111(代)

Yamato
YAMATO LOGISTICS

都市と杜の新世界へ

鎮守の杜、里山の杜、参道の並木。
「杜(もり)」はいつも人々の暮らしに溶け込んだ癒しの場でした。
これからの都市には、潤いと憩いをもたらす「杜」を身近に感じたい。
私たちヤマトが常に追い求めるもの、それは、人にも環境にも貢献できる技術。
そして、環境に負担をかけない技術を生み出すこと。
創業以来、私たちはさまざまな分野で環境関連技術を駆使し、
地球にやさしい社会づくりに貢献してまいりました。
自然との調和を目指して、都市と杜の新世界へ。
総合環境エンジニアリングカンパニーへの新たな歩みがはじまります。



株式会社 ヤマト

群馬県前橋市古市町118番地 〒371-0844
TEL.027-290-1800(代) FAX.027-290-1896

URL http://www.yamato-se.co.jp

支店 東京、埼玉、栃木、横浜、千葉、高崎

営業所 軽井沢、太田、伊勢崎、吾妻、熊谷、栃木市

付属施設 大和環境センター、大和環境研究所、大和分析センター

環境マネジメントの国際標準規格
ISO14001 認証取得

品質保証の国際標準規格
ISO 9001 認証取得

理事・運営委員会 報告

「本会のめざすもの」

藤沢 慧専務理事からの提案

去る十一月十日の理事・運営委員会
で藤沢慧専務理事から「本会のめざす
もの」と題した討議資料が提出されま
した。本会には様々な分野で多様な職
種の人たちが参加しています。すべて
の会員が力をあわせて活動してゆくと
めに共通の課題はなにか、を考えよう
…と提案されたものです。この文書を
もとに理事・運営委員で話し合が行わ
れました。提案文書を紹介します。

■本会のめざすもの

前橋・在宅ケアネットワークの会が
初めにめざした旗印は「高齢者が生活
しやすい町づくり」だった。平成十二
年に「特定非営利活動法人NPO前
橋・在宅ケアネットワークの会」とな

り、定款の第三条（目的）によると
「この法人は、医療、保健、福祉、教
育の各分野に携わる人々と、住民が協
力し、要援護高齢者とその介護者に関
する事業を行い、福祉の向上に寄与す
ることを目的とする」となっている。

註（障害者と育児者の支援も目的に
入れる案がでたが、総会には諮られて
いない）。

この目的のために、第四条で特定非
営利活動、及び第五条の目的達成のた
めに行う事業を規定している。

現在、総会において承認された平成
十五年度事業計画の「運営方針」「重
点事業」に基づき事業と活動を実行し、
会議等を開催している。

■本日のテーマの主旨

理事・運営委員の皆さんに前もって
お配りした厚労省が設けた高齢者介護
研究会による『二〇一五年の高齢者介
護―高齢者の尊厳を支えるケアの確立
に向けて―』が出され、この報告書を
読み「本会のめざすもの」をもう一度
考えようではないか、理事・運営委員
に意見を出して戴きたいというのが本
日の主旨である。

■報告書の検討と本会の現状

（同報告書の頁に沿って以下の解説が

ありました）

- ・要介護認定者の増加（軽度の増加）
- ・本会の活動のニーズが増えている。
- ・特養ホームの入所申込者が急増。在
宅で生活が困難となっている。

- ・居住型サービスの必要性

- ・特定施設（介護付き有料老人ホーム、
ケアハウス）の利用の増加。

- ・特養ホームでユニットケアの進展。

- ・特養ホームでの取り組みが進みつつ
ある。

- ・高齢者の状態のアセスメント、分析
が不十分。

本会では二人のケアマネジャーが要
介護者の適切なサービス、ケアブラ
ン作成をしている。

- ・痴呆性高齢者の増加。

痴呆性高齢者ケアについて、本会で
は医師部会を中心に勉強会・講演会な
どを行っているが、益々の対応に迫ら
れている。

- ・介護サービスの情報の不徹底

サービスの分かりやすい情報が住民
に十分知らされておらず、苦情も多い。

本会では介護保険相談窓口を開いて、
住民の相談にのっている。またヘルパ
ー養成講座を開き、ヘルパーの介護サ
ービスの質の向上に寄与している。

報告書に記された内容は、本会が関
る高齢者介護の現状も同様と考える。

ここで「本会のめざすもの」を明確に
し、会の目的達成のための独自の具体
的な取り組みをしていかなければなら
ない。

■高齢者介護の今後の展望

◎介護予防・リハビリテーション

高齢者の相互扶助、社会参加、社会
貢献、就労、生きがいづくり、健康づ
くり（生活習慣病の予防は本会に医師
が多いので今後の活動が期待される）
などが求められる。本会のボランティア
活動が効果を出すか、否か問われて
いる。可能な限り在宅で暮らすことを
目指す。

◎住宅 住まいの問題

住居に関しては現在七兆円規模とな
ったリフォーム産業だが、バリアフリ
ー改修は介護保険での住宅改修費・限
度額二十万円（一割自己負担）となっ
ている。しかし高齢者向け返済特別制
度（バリアフリーリフォーム）も毎月
の返済は利息のみ。元金は死亡時に一
括返済。融資金額最高五百万円はあま
り利用されていない。

■本会の今後の活動をどう進めるか

核家族となり、在宅で介護する家族
が少なくなっている。新築でも「防犯」
に注目され「防災」・「バリアフリー」

には今だに重点がおかれていない。本会の検討課題となっている『高齢者適合住宅建設者の研究会』が注目される。

◎切れ目の無い介護サービスを一体的・複合的に提供できる拠点（小規模・多目的サービス拠点）が必要

「通う」（通所介護）、「泊まる」（短期入所）、「訪問を受ける」（訪問介護）、「住む」（グループホーム）などが、現在の介護保険で受けられる。しかし担当スタッフが別々で、利用者にとって不便である。本会では地区ささえあい活動として、東地区、東部地区、上小出町地区で実践を試み始めているが、まだまだ総合的な拠点にはなっていないが、報告書にも空き家を活用して地域の高齢者の集いの場とすることは、地域を活性化し、空洞化の防止になると記されている。

◎高齢者にとって新しい自宅

施設以外の「住まい」を考える

介護の必要のない高齢者が、有料老人ホームなどに「早めの住み替え」をするか、「要介護になってからの住み替え」として、痴呆性高齢者のグループホーム、介護付き有料老人ホーム、ケアハウスなどが注目されつつある。

◎デンマークの高齢者レポート

スウェーデンの特別養護老人ホーム「アライエムを越えて」（松岡洋子著）によれば、福祉先進国でも「施設ケア」から「在宅ケア」へ移行し「総合ケア」に向かい、「住宅」政策こそ高齢者福祉の要であると書かれている。今後は、特別養護老人ホーム（施設機能）が小規模・多機能サービス拠点に出張するか、ユニットケア形式の小グループによる個別ケアを導入することになるだろうという。

◎痴呆性高齢者について

痴呆をもつ高齢者が要介護者の約半数にもなるのに、身体的ケアに比して精神的ケアが遅れている。「小規模な居住空間、なじみの人間関係、家庭的な雰囲気の中で、住み慣れた地域での生活を継続しながら、一人一人の生活のあり方を支援していく」という方法論は、グループホーム以外で展開されるべきである、と報告されている。

■本会のめざすもの

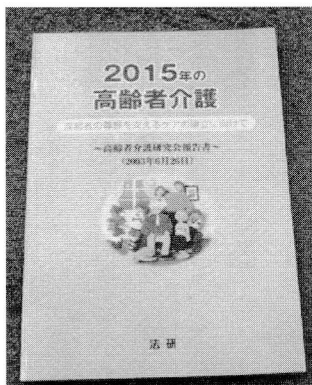
以前に斎藤理事長より「私の在宅ケア」という発表があり、その中で「いきいき館構想」について述べている。それによると「在宅ケアは病状が重くなるにつれ、家族の負担が増大する。したがって施設は必要だが、これを遠方の施設ではなく、より身近で簡便な小規模施設で吸収できないか、と

考えているのが「いきいき館」である：以下略」。この「いきいき館」構想こそ、高齢者介護研究会の出した「小規模多目的サービス拠点」に近づく、高齢者介護の将来像ではないか。われわれは高齢者介護研究会の報告書を読んで、本会の定款の目的にある「福祉の向上に寄与する」具体的な方針を考へながら、本会のめざすものを語り合い模索していきたい。（以上提案要旨）

『2015年の高齢者介護』 ～高齢者の尊厳を支えるケアの確立にむけて～

高齢者介護研究会報告書が冊子になりました。これまではインターネットで掲載された資料をコピーして配布していましたが、きれいな雑誌として法研という会社から刊行され、本体価格880円送料430円で誰でもファックスで注文し取り寄せることができます。ぜひ一読下さい。

注文先 法研 法令企画課
東京都中央区銀座1-10-1
TEL03-3562-7669 Fax03-3562-2613



この日の理事・運営委員会では小規模多機能施設と『いきいき館構想』について、集中的に議論を深め、本会として可能な取り組み、活動方針を検討、提案して貰うためにプロジェクトチームを選任しました。

プロジェクトチームでは今後、何回かの集まりをもち理事会、例会に方針を発表することになっています。

健康で長生きするための

「食の健康法講座」開催

老化を早める原因とされ、また病気の九五％に係わっているといわれている活性酸素。その活性酸素研究の第一人者、藤江久七生氏を講師に招き、活性酸素の発生原因やその消去方法、食による健康法についての話を伺います。

■二月七日（土）二時～三時三〇分
■前橋市総合福祉会館1F
（子育て研修室）

■入場無料（申込先着三〇名様）

お問い合わせ・お申し込み

群馬ライフ

電話（〇二七）二九〇一三六二三

FAX（〇二七）二九〇一三六二八

URL <http://www.gunma-life.com>

東部地区 例会報告

『ききょうの里』 研修旅行記

朝 日 町 力石 宮子

特 養
ホ ム

三・四日前の天気予報によると十月二十九日は完全なる雨マークでしたが、その朝は予報を反して透き渡るような青空。毎年恒例の「日帰り研修旅行」一行十九名は午前八時に加藤医院の駐車場を出発しました。

まずはこの行事の主目的である沼田市の特養ホームききょうの里に。デイサービス利用の方々が見えられる前に、内部の各施設等の案内をしていたきました。施設に入っの私の第一印象はいわゆる施設特有の臭いが全く感じられないという事。そして特養に入居しているお年寄り一人一人の表情が豊かで柔らかなことでした。

その後、理事長さんの挨拶に始まり、

施設長さん、特養及びデイ等を担当している方のお話しを。

平成二年九月の設立で、事業内容は

- 1、短期入所生活介護事業
 - 2、デイサービスセンター
 - 3、ヘルパーステーション
 - 4、第二デイサービスセンター
 - 5、沼田市在宅介護支援センター
 - 6、居宅介護支援事業所
- ということでした。

四年前に新聞やテレビ等で報道された前理事長の入所者に対する問題行動事件後、心機一転、理事長はじめ全理事が交代し現在に至っているとの事。

上記のことを踏まえた全職員の前向きな姿勢が、最初に私の目に映ったお



年寄りの印象に結びついてるのではと思います。

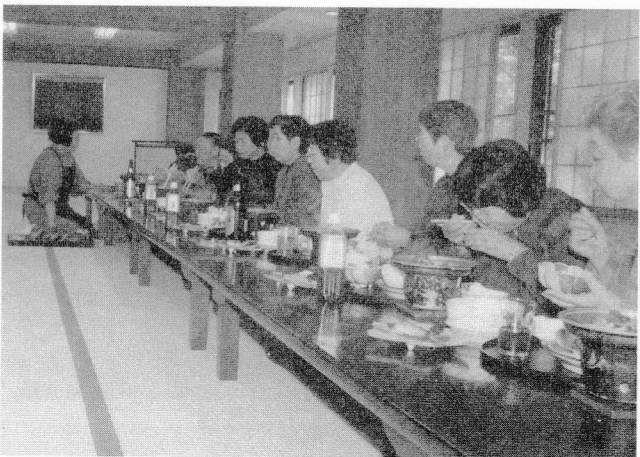
また理事長さんの挨拶のなかで「施設設備の充実は勿論であるが入所者の人間性を特に大事にしたい」との言葉が特に印象に残っています。そしてそれは入所者の人達がそれぞれの希望により、ベットあるいは布団に寝ている様子に垣間見た気がいたします。職員の方の実際の経験に基づいた熱心な説明と質疑応答等で予定の時間をかなりオーバーしながらも、話し足りないの思いを残してききょうの里を後にしたのです。

ちょうど紅葉の時期ということで運転手さんの配慮により川場村方面を迂



回してくださり車窓より観る木々に感動、途中りんご園に立ち寄っていただいて、りんごの試食、そして中にはお土産に買い求めるなど、予定より一時間ほど遅れて水上温泉「みやま」に到着。ご馳走いっぱい昼食、そして入浴で日ごろの疲れをリフレッシュして、午後三時頃帰路に着きました。

本部の方、東地区の会員さん、デイあさひの職員の方々の参加もいたって大変有意義な一日を過ごし、今後の活動に何かプラスのものを学んだような気がします。



東地区 例会報告

群馬の食文化の
歴史と現状

明和短期大学客員教授 志田 俊子先生

私の栄養学の出発点は食品分析です。学校卒業後、最初の仕事をした食品会社研究室では毎日、食品の分析をすることが仕事でした。

そのうち新商品開発に携わることになりましたが、でも製品化は叶わず実社会の現実の厳しさを味わいました。

その後、栄養士養成施設に職場を得、栄養士の教育にあたることになりました。授業の一環として学生自身の食生活の実態を把握する必要を感じました。何年か調査を実施しているうちに、同じ食卓を囲んでも各人の食べ物が違うことを知り、そこで多角的に研究す

るため群馬大学医学部衛生学教室に入り、公衆衛生学の見方から栄養調査のことを学んだのです。つまり教師と学生両方の立場であり、これは大変なことでした。

保健所や県のお手伝いで地域を調査してみると、また別の面が見えてきました。そのころ群馬県では「スリーホワイト・キャンペーン」ということを行っていました。これは米を見直し、塩分を控え、牛乳を飲むという運動で白が共通色なので三つの白色で食品を栄養改善の柱にしようというものでした。

私が食文化に関心をもったのは、「ブッシュマン」という本で、そこから人間の生態を調べるには食生活は欠くことの出来ない条件であると知ったからです。また某出版社から協力を頼まれ「日本の食生活全集」の「群馬の食事」の担当となり県内を歩いたことは勉強になりました。たとえば伝統的味噌作りの現場を見て、減塩指導の難しさなどを感じました。

生活を見ないと本当の改善はできないと思います。生活様式の累積が生活文化を形式していくといえます。私はアナリシスからサーベイ、カルチャーへと歩みカルチャーがつかることなく深いものと知りました。食品がどうい

うものか知ることで「おきりこみ」の粉とアミノ酸の関係も理解しておくことなどです。いまはファーストフードが普及していますが最近ではスローフードを見直す動きもあります。

ところで以下にスライドをご覧いただきながら群馬の食文化にふれてみたいと思います。(スライド投影と解説)

◆北毛の新治村は、山、桑畑、棚田など山間部の特徴的風景のところで、この食生活に味噌づくりがあります。桑の根の薪、わら靴、そして一升ますなど用いるのは、かなりの塩をつかうことなど感じとれます。この地の文化は新潟から入ってきました。

◆長野原は上田との文化交流が盛んで凍豆腐が有名です。寒い気候のなかで石臼をつかい豆乳をつくります。また小豆のご飯と二本の箸で穀物の出来高を計る祭りなどがあります。

◆次は高崎市豊岡での調査です。交通の要衝高崎豊岡では野菜の引き売りの風景が見られました。その売り上げで時々魚を買って帰ったそうです。達磨づくりが農家の副業で食生活は豊かであったようです。少林山の普茶料理は大豆や小麦など植物性のものでつくられ、これら植物の蛋白質性の食品は成人病の予防に役立ったようです。

介護保険を利用した

住宅改修の例

(その五)

福祉住環境コーディネーター

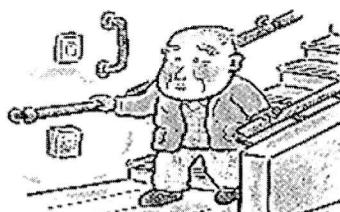
神久 透

健康な時には

気が付かないわずかな段差が老年寄りには大きな障害となります。玄関をはじめ廊下や、階段から部屋の隅々に至るまで、危険は自宅のあらゆるところにあると言っても過言ではありません。ちょっとした配慮で未然に防げる事故も少なくありません。現在、介護保険制度で要介護及び要支援の認定がうけられれば市町村の住宅改修費の対象となっており、工事であれば、限度額二十万円まで一割の負担で工事を行うことが可能です。

*

Eさん宅では玄関等の段差、各部屋への小さな段差も日常生活において困難な状況があり、本人及び介助者の負担を軽減するため、昇降用の踏み台、手摺、段差スロープを設置したことに





◆奥多野中里村は「米無山中領」といわれ林業が主です。下仁田で炭を売り米を買って帰るとのこと、米に代わる「焼き餅」や「いも串」を焼く五徳。そして「ひえ」「粟」「餅草」など用いられていて、栄養学、食品学はもちろん民俗学的な分析もされているわけです。

◆「焼きまんじゅう」は群馬の名物ですが、その好き嫌いはその人の生きてきた歴史により異なるでしょう。ある研究者の話によりますと、労働者の「おやつ」であると考えられています。

◆富士見村小暮での半纏を着ての麦踏み風景からは生産活動を通じて足腰が

鍛えられ子供が成長していくのがうかがえます。

◆食文化の啓発に力を入れた結果、一昨年の国民文化祭にこれを取り入れられました。衣にも住にも文化財があるのに食にないのを疑問に思っていました。長野、滋賀では文化財として選択されています。麵を定規もあてず正確に切るなどは文化財とは言えるのではないのでしょうか？滋賀県の短大では郷土食の時間割が設けられています。

◆吾妻の「おきりこみ」には「えごま」、煮干し、芋、国分人参なども使われています。

◆繭玉飾りなども養蚕県でしたので生活文化として孫たちにも伝えたいもので、県民が食文化に目を向けるようにと昨年の国民文化祭には県庁に大きな繭玉飾りを飾りました。

◆えびす講のお膳は神様への供え物で、利根郡では漬物、干物魚、ご飯を中里村は秋刀魚、浸し豆、高崎では鯛、利根では生いわしが板倉では鮒や海老などが供えられました。

◆そのほか「婿だまし」の料理、「しもつかれ」、竹を使った「おにおろし」など食文化として残して欲しいものがあります。

カレー粉を製造している食品直営店でのカレーライスより家庭の味のカレ

ーが旨いのは、来客に合わせた調理時間のためです。最近イタリア料理が好まれています。小麦粉が原料の麺とパスタ、やきもちとピッツアなど類似点があり非常に興味があります。イタリアの方と対談する機会があり、この点について語り合いたいと思っています。

*

食文化について語ることは健康について語ることもあります。千年間の食事の変化が四十年に凝縮されていると言える現在、民族性、風土、体のことなどの関連を理解し生きることの大切さを子孫に伝えるべく、与えられた命を一人一人がもつと大切にすることです。

歴史のなかでなぜこういう食事があったのかを日々の生活の参考にしていくことが大事です。

要約 本間正三郎

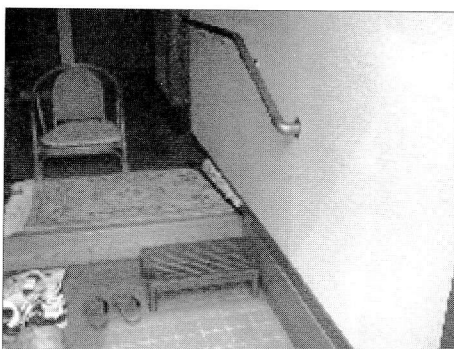
十月三十日 於・東公民館

この日は医療トピックスとして「治療について」を滝澤康先生が、「口の中の免疫力と歯周病」を長島明先生がそれぞれお話をされました。

より、安心して各部屋への移動ができるようになりました。実際には、工事を行わずにちょっとした家具の配置を変えるだけで改善される場合もあります。まず、介護支援業者等の相談員や、介護リフォーム施工者の方に相談されてみるのが良いと思います。



施工前



施工後

ひまわり会は、地元の畑でとれた野菜等の食材を使って、豆腐、パン、手打ちうどん、そば等「食の安心安全」

ふれあい食事会 『ひまわり会』

木村なつ子
堤町
TEL.269-6024

はじめまして会員の木村健一と申します。
簡単に自己紹介をさせていただきます。
出身は福島県郡山市です。高校卒

ヘルパーセンター 『もみじ』

〒371-0115
勢多郡富士見村小沢259-3

有限会社 木村サービス
TEL027-288-9186
FAX027-288-9176

New Face 登場!

会員の自己紹介、活動アピール、全会員への呼びかけのページです。

(字数500字・写真1枚)
どしどしご投稿下さい。

業と同時に東京の医薬品問屋に就職、その後日本生命、日産科学の商社、ステンレス品製造メーカー、ペット用品メーカー、福祉施設関連と多職に勤務、その間に二度のリストラを味わう。昭和四十六年に前橋へ、平成十年より富士見村に住み、群馬へ来てから三十数年がたとうとしています。まさに群馬県人と自負しているところです。

平成十四年二月に訪問介護事業に参入し、現在八名の職員と共に人との接

し方には平常心・自然体で接すべく日々努力すると共に自分に対しては常に反省の念を持ち「甘えはないか」をモットーに日頃歩んでおります。

また、現在の仕事を通して介護保険業務からはみでている部分の雑草退治、粗大ゴミ処理等、体力の許す範囲のところで行っています。

当社の業務体制は年中無休・二十四時間体制で、現在の活動範囲は、高崎・前橋・榛東・赤城・富士見村内で営業しております。

今後皆様方のあたたかいご支援をたまわりますようお願い致します。

栄養士さんを講師に「高齢者の食事料理実習」、高齢者の体と心を理解しようとして「高齢者疑似体験」等の学習を行っています。公民館で年間四回程度開催、八〇才ー一〇一才までの高齢者十五〜十六名が参加してくれま

す。食事の変化を持たせ、四季折々の昔なつかしいメニューや現代風のメニューと、試行錯誤しながら知恵を出し合っています。回を重ねることに充実したものとなりつつあります。毎回、食事会の他にイベントを組み入れお年寄りの励みになればと企画しています。



謹 賀 新 年

本間小児科内科医院

院長 本間 剛
診療科目 小児科・内科

〒371-0801 前橋市文京町4-22-18
TEL 027-221-6807

丸山眼科医院

院長 丸山 明信
診療科目 眼科

〒371-0805 前橋市南町3-59-4
TEL 027-223-5941 FAX 027-223-594

村山医院

院長 村山 義和
診療科目 内科・小児科

〒371-0012 前橋市表町1-13-17
TEL 027-221-4643 FAX 027-221-472

山下医院

院長 山下 由起子
診療科目 消化器科・外科

〒371-0016 前橋市城東町4-11-17
TEL 027-231-3726

吉野医院

院長 吉野 昭男
診療科目 精神・神経科

〒371-0018 前橋市三保町2-13-10
TEL 027-232-3333

松沢医院

院長 松澤 一夫
診療科目 内科・小児科

〒379-2108 前橋市鶴が谷町14-1
TEL 027-268-3826

宮石内科医院

院長 宮石 和夫
診療科目 内科

〒371-0825 前橋市上細井町1955-1
TEL 027-234-1876 FAX 027-234-067

八木医院

院長 八木 茂
診療科目 内科・胃腸科

〒371-0835 前橋市前箱田町115-1
TEL 027-253-6588 FAX 027-253-542

湯浅歯科医院

院長 湯浅 高行
診療科目 歯科

〒371-0024 前橋市荒牧町504
TEL 027-232-4184

若宮内科

院長 山田 邦子
診療科目 内科

〒371-0017 前橋市日吉町4-44-47
TEL 027-234-6001

「かかりつけ医」として健康と介護の相談に応じます

おまかせ下さい防犯・防災

機 械 警 備

施 設 警 備

ホームセキュリティ

警 備 輸 送

<http://www.g-alsok.co.jp>

群馬総合ガードシステム(株)

代表取締役 川 崎 弘

☎ 027-252-5454(代) FAX 027-251-8388

本社 〒371-0854 前橋市大渡町二丁目1番地の5

あさいち・**勝利情報** 6:55~

ひる生情報II 11:30~

ニュースジャストN 17:30~

GTVニュース 21:30~



ボチと群テレ

群馬テレビ

情
報

ホームヘルパー2級 養成講座 開講のお知らせ

■16年1月5日受付開始します■

高齢社会の中、地域社会との関わり方が大変重要になってきました。介護の基礎講座・ホームヘルパー2級を取得して、ヘルパーの仕事にチャレンジしてみませんか？

期 間 平成16年 1月～4月
場 所 前橋市総合福祉会館 会議室
内 容 ①.講義／58時間 ②.演習／42時間 ③.実習／30時間 計130時間
受 講 料 65,000円（テキスト、実習費含む）
当会の会員／62,000円（15年度会費未納者は別紙振替用紙にて納入して下さい。）
定 員 30名（郵送等先着順とし定員をこえた場合は抽選を行ないます）
参加資格 全日程参加できる方
申込方法 申込書と市販の履歴書（写真添付）を1月20日迄に提出して下さい。

★3級養成修了者は、一部科目が免除される場合がありますので、修了証書の写しを添付して下さい。

申込・問い合わせ先：前橋市日吉町二丁目17番地10号 前橋市総合福祉会館内
〒371-0045 前橋・在宅ケアネットワークの会 TEL027-235-6283

訪問介護員養成研修 2級カリキュラム

月 曜	時 間	場 所	教 科 名	月 曜	時 間	場 所	教 科 名
1/27 (火)	3 9:00～12:00	市総合福祉会館 第3会議室	1.福祉理念とケアサービスの意義	2/17 (火)	6 9:00～16:00	県厚生農業協同組 合連合会研修室	2.介護技術
	3 13:00～16:00	〃	2.サービス提供の基本的視点	2/19 (木)	6 9:00～16:00	県厚生農業協同組 合連合会研修室	2.介護技術
1/29 (木)	3 9:00～12:00	市総合福祉会館 第3会議室	3.高齢者保健福祉の制度とサービス	2/21 (土)	2 10:00～12:00	市総合福祉会館 第3会議室	17.リハビリテーション医療の基礎知識
	3 13:00～16:00	〃	5.訪問介護概論	3 13:00～16:00	〃	〃	4.レクリエーション体験学習
1/31 (土)	2 10:00～12:00	市総合福祉会館 第3会議室	6.訪問介護員の職業論理	2/24 (火)	6 9:00～16:00	県厚生農業協同組 合連合会研修室	2.介護技術
	3 13:00～16:00	〃	9.高齢者・障害者（児）等の家族の理解	2/26 (木)	3 9:00～12:00	県厚生農業協同組 合連合会研修室	2.介護技術
2/3 (火)	3 9:00～12:00	市総合福祉会館 第3会議室	4.障害者（児）福祉の制度とサービス	3 13:00～16:00	〃	〃	〃
	4 13:00～17:00	〃	7.障害・疾病の理解	2/28 (土)	2 10:00～12:00	市総合福祉会館 第3会議室	14.相談援助とケア計画の方法
2/5 (木)	3 9:00～12:00	市総合福祉会館 第3会議室	8.高齢者・障害者（児）の心理	3 13:00～16:00	〃	〃	3.訪問介護計画の作成等
	4 13:00～17:00	〃	7.障害・疾病の理解	3/2 (火)	6 9:00～16:00	県厚生農業協同組 合連合会研修室	2.介護技術
2/7 (土)	3 9:00～12:00	市総合福祉会館 第4会議室	10.介護概論	3/4 (火)	2 10:00～12:00	市総合福祉会館 第3会議室	3.訪問介護計画の作成等
	2 13:00～15:00	〃	13.家事援助の方法	4 13:00～15:00	〃	〃	1.福祉サービスを提供する際の基本的な態度
	2 13:00～17:00	〃	〃	3/6 (木)	4 10:00～15:00	市総合福祉会館 第3会議室	11.介護事例検討
2/10 (火)	3 9:00～12:00	市総合福祉会館 第3会議室	16.在宅看護の基礎知識	05 15:00～15:30	〃	〃	●オリエンテーション
	4 13:00～17:00	〃	12.住宅・福祉用具に関する知識	3/8 (月)	16 8:00～17:00	各 施 設	1.介護実習
2/12 (木)	3 10:00～12:00	市総合福祉会館 第3会議室	14.相談援助とケア計画の方法	8 〃	〃	〃	2.訪問介護動向訪問
	4 13:30～16:30	〃	15.医学の基礎知識	4/8 (木)	8 〃	〃	3.在宅サービス提供現場見学